# ■ 農作物の生育状況と今後の対策等(10月)

令和7年10月17日 青森県三八農林水産事務所 農業普及振興室

### I 土地利用型作物

- 1 水稲
- (1) 刈取り進ちょく状況

管内の稲刈りは、刈取り始め(5%)が9月11日で平年より10日早く、 刈取り最盛期(50%)は9月22日で平年より11日早く、刈取り終わり(95%) は10月4日で平年より12日早かった。

(2) 今後の対策等

稲わらは焼却せず、堆肥化やすき込みなど有効利用に努める。

### 2 大豆

(1) 生育の状況

10月上旬から成熟期を迎え、10月中旬からコンバインによる収穫適期になると推定される(おおむね平年並)。

(2) 今後の対策等

汚粒発生を防止するため、大型雑草や青立株の抜き取りを行い、適期に 収穫する。

- 3 小麦
- (1) 生育の状況

10月4日からは種作業が行われている。

#### Ⅱ 野菜

- 1 ながいも
- (1) 生育の状況
  - ア 生育観測ほ

10月10日現在、いも長、いも重は平年を上回り、いも径は平年並であった。

病害虫は、葉渋病、炭そ病、ナガイモコガ、ハダニ類の食害がみられる。

イ 一般ほ場

病害は葉渋病、炭そ病が発生しており、一部のほ場では部分的に茎葉が 枯れているところが見られる。虫害はナガイモコガ、ハダニ類の食害が見 られる。

表1 ながいも生育観測ほの生育状況 (10月10日現在)

|      |    | 定植期  |            |      |      |     | つるの     | 9月10日現在        |        |      | 10月10日現在       |       |      |          |
|------|----|------|------------|------|------|-----|---------|----------------|--------|------|----------------|-------|------|----------|
|      |    |      |            |      |      |     |         | (本年調査日:9月 10日) |        |      | (本年調査日:10月10日) |       |      |          |
| 年月   |    |      | 種いも<br>の種類 | 萌    | 芽    | 欠株率 | ネット頂到達日 | いも長い           | といも重いも | いも径  | 径いも長           | いも重   |      | 病害虫の     |
|      |    |      |            | 始め   | 揃い   |     |         |                |        |      |                |       |      | 発生状<br>況 |
|      |    | (月日) |            | (月日) | (月日) | (%) |         | (cm)           | (g)    | (mm) | (cm)           | (g)   | (mm) |          |
| 本    | 年  | 5/14 | ガンク欠       | 6/18 | 6/23 | 0   | 7/10    | 92.3           | 1,321  | 60.0 | 103.3          | 1,696 | 59.1 | 少        |
| (平年) | 比) | 遅8日  |            | 遅12日 | 遅11日 |     | 遅3日     | 111%           | 128%   | 104% | 110%           | 133%  | 101% |          |
| 平    | 年  | 5/6  | ガンク欠       | 6/6  | 6/12 | 0   | 7/7     | 83.2           | 1,032  | 57.8 | 93.9           | 1,277 | 58.5 |          |
| 前    | 年  | 5/20 | ガンク欠       | 6/20 | 6/24 | 0   | 7/12    | 86.7           | 1,040  | 55.1 | 97.3           | 1,113 | 52.7 | 少        |

※庄司系2年子・120~150g ガンク切除

※平年:平成27~令和6年の平均値

### (2) 今後の対策等

ア 通路に落ちたむかごの処理等、収穫に向けた準備を計画的に行う。

イアクが発生しないように早掘りを行わない。

#### 2 にんにく

### (1) 作業進捗

植付け作業の始まり(5%)は、平年より6日遅い10月3日で、最盛期(50%)は平年より5日程度遅い10月12日頃と見込まれる。

9月いっぱいは稲刈り作業に注力し、植付け作業が遅れたとみられる。 また、近年は秋季の気温が高めに推移する傾向であることから、植付けを 遅めにしている生産者がみられる。終わり(95%)は、平年より4日程度遅 い10月20日頃と見込まれる。

#### (2) 今後の対策等

植付けが遅れている場合は、ほ場の条件を確認しながら、出来るだけ早く植付けする。

#### 3 トマト

#### (1) 生育の状況

生育観測ほは、夏場の高温により発生した落花等の影響と、夜温が低下してきたことによる同心円状裂果の発生などにより収穫量は低下している。 病害虫は、すすかび病・葉かび病のほか、灰色かび病による果実のゴーストスポット、コナジラミ類によるすす病がみられる。

#### (2) 今後の対策等

ア 裂果を防ぐため、夜間はハウスを閉めて保温し、日中は適宜開放して 湿度を下げる。また、葉かきも行う。

イ 病害虫の発生状況に合わせて、適切に防除する。

### 4 いちご

### (1) 生育の状況

### アとちおとめ

定植期は8月26日で、平年より1日遅かった。 生育はいずれも平年を上回り、ほぼ全株で開花が認められた。 平年と比べて生育が進んでいるとみられる。

## イ よつぼし

定植期は9月16日で、平年より1日早かった。 草高は平年を下回ったほかは、概ね平年並~上回っていた。 チョウ目幼虫、コナジラミ類の発生が認められた。

表 2 いちご生育観測ほの生育状況(10月9日現在)

| 品種名                  | 年度    | 定植期    | 草高<br>(cm) | 葉柄長<br>(cm) | 小葉長<br>(cm) | 小葉幅<br>(cm) | クラウン径<br>(mm) |
|----------------------|-------|--------|------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
|                      | 本年    | 8月26日  | 23. 2      | 14. 5       | 11.6        | 9.6         | 19. 3         |
| とちおとめ                | (平年比) | (1日遅い) | (116%)     | (116%)      | (106%)      | (109%)      | (127%)        |
| こりねこめ                | 平年    | 8月25日  | 20.0       | 12. 5       | 10.9        | 8.8         | 15. 2         |
|                      | 前年    | 9月3日   | 10.4       | 5. 6        | 7. 9        | 6.6         | 13. 9         |
|                      | 本年    | 9月16日  | 12. 7      | 9.8         | 8. 6        | 6.8         | 12. 9         |
| よつぼし                 | (平年比) | (1日早い) | (89%)      | (104%)      | (105%)      | (103%)      | (100%)        |
| x <sup>2</sup> 714 U | 平年    | 9月17日  | 14. 2      | 9. 4        | 8. 2        | 6.6         | 12.8          |
|                      | 前年    | 9月25日  | 13. 3      | 8. 5        | 6. 7        | 5. 2        | 9. 6          |

注) 平年は、とちおとめが前10か年、よつぼしが前6か年の平均値.

### (2) 今後の対策等

ア 適正な温度管理に努める。

イ 炭疽病、うどんこ病、ハダニ類、コナジラミ類、ヨトウムシの防除を行う。